

みのり

学校ホームページ <http://www.kamonorin-h.nein.ed.jp>

貝沼和花さん高校生福祉文化賞優秀賞受賞!



第15回高校生福祉文化賞エッセイコンテスト(日本福祉大学主催、文部科学省後援)の審査結果が公表され、本校3年4組貝沼和花さんが、

第4分野「社会のなかの『どうして?』」において、見事優秀賞に輝きました。全国から9,204通の応募があったとのこと、優れた作品の証です。

11月5日(日)には、愛知県の日本福祉大学美浜キャンパスで開催された授賞式に参加。貝沼さんの「障がいは不幸ではないこと、誰もが夢を持っていること、ハンデは“特長”であり“特徴”ではないことを、文字で、言葉で、伝えていきたい」との思いは、交流会でも多くの共感を得たそうです。

貝沼さんのテーマ「^{みずみず}瑞々しく生きる」のように、誰もが瑞々しく生きられる社会であるように皆で力を尽くしたいものです。おめでとうございます。

空手道部高木知香選手北信越大会出場!



11月25・26日(土・日)、石川県加賀市スポーツセンターで開催された北信越高校空手道新人大会「女子個人組手」部門に、本校空手道部の高木知香選手(1年1組)が出場しました。

高木選手は、小さい頃から空手道をはじめ、中学校でも活躍した選手。高校入学後も部活動に加え、道場にも通って実力を付け、県大会で勝ち上がり北信越大会出場権を手にしたものです。

北信越大会では、1・2回戦を順調に勝ち上がり、順々決勝でも健闘、全国まであと一歩と迫りました。健闘を称えるとともに、今後の活躍を期待します。

市川諒さん毎日農業記録賞優良賞を受賞!

農業や食、環境にまつわる思いを綴る毎日農業記録賞。高校生部門1,043編の応募作の中から、本校3年3組市川諒さんの「理想の6次産業化に向けた私の挑戦」が、見事優良賞に選ばれました。

市川さんは、減農薬栽培で育てたサツマイモを用いて、洋菓子「フィナンシェ」を商品開発し、文化祭等で提供。害虫との苦闘など、試行錯誤しながらも食の安全を大切にされた農業の6次産業化の取組が評価され、県内高校生唯一の受賞となりました。



将来、営農指導員を目指す市川さん。新聞社の取材に、「農家に信頼してもらえる指導員になり、農業の発展に貢献したい」と抱負を語っています。

今後の活躍を大いに期待しています。受賞本当におめでとうございます。

来年度の青海会&農ク役員が抱負を語る!



11月15日(水)、青海会と農業クラブの役員選挙が行われました。

候補者は「意見箱を設置して全校生徒の声を取り入れたい」「活動をより知ってもらうため、青海会通信を出したい」「青海会と農クで連携してよりよい学校にしたい」「農クの取組をより楽しくより充実したものにしたい」など、抱負を語りました。

役員と全校生徒が力を合わせ、より良い活動にしてください。期待しています。

選任された来年度役員の皆さん

- 青海会会長:高橋誉門さん(2-4)
- 副会長:山岸みはるさん(2-1)、高橋知弘さん(2-2)
- 農業クラブ会長:大倉葵さん(2-1)
- 副会長:重泉房江さん(1-5)、大橋海夢さん(2-1)

フジタファームの「循環型農業」を学ぶ！



11月29日(木)、新潟未来プロジェクト事業講演会が開催され、フジタファーム代表取締役の藤田毅様から、「循環型農業の実践」と題して、講演をいただきました。

藤田様は、新潟市西蒲区(旧岩室村)で、米(飼料米など)の生産、乳牛・肉牛の飼育、糞尿の堆肥化による有効活用、そして有名なジェラードショップ「レガーロ」やステーキハウスの経営と、循環型農業の実践、農業の6次産業化を進める酪農家。平成21年には、日本農業賞大賞を受賞された方です。

生徒からは、「循環型でかつ利益につながる農業に興味を持った」「私もカボチャのジェラード食べてみたい」「現場を直接見ることや信頼できる仲間を作ることの大切さを感じた」などの感想。農業の大先輩に大いに刺激を受けたようです。

生徒からは、「循環型でかつ利益につながる農業に興味を持った」「私もカボチャのジェラード食べてみたい」「現場を直接見ることや信頼できる仲間を作ることの大切さを感じた」などの感想。農業の大先輩に大いに刺激を受けたようです。

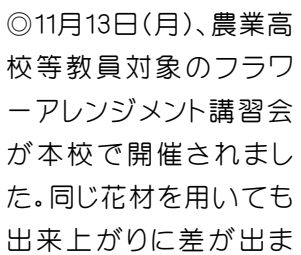
貴重なお話、ありがとうございました。

加茂農林フォトアルバム in November

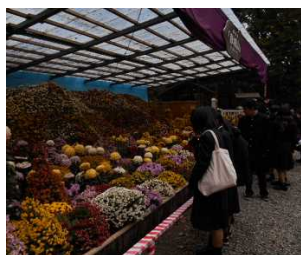


◎11月11日(土)、防災フォーラムが三条市水防学習館で開かれ、NPO法人トライ・フューチャー事業の一環として参加しました。手塩にかけたお花などを多くの方々からお買い求めいただきました。

◎11月13日(月)、農業高校等教員対象のフラワーアレンジメント講習会が本校で開催されました。同じ花材を用いても出来上がりに差が出ます。センスや技術の大切さを実感しました。産フェア新潟大会に向け、やる気と元気をいただきました。



◎11月22日(水)、草花コースが校外学習で、弥彦神社菊祭りを見学。仕立ての技に驚かされました。生物工学科の古典ギクの展示も注目を集めていました。



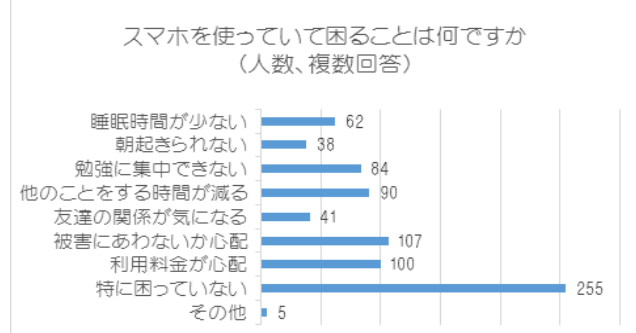
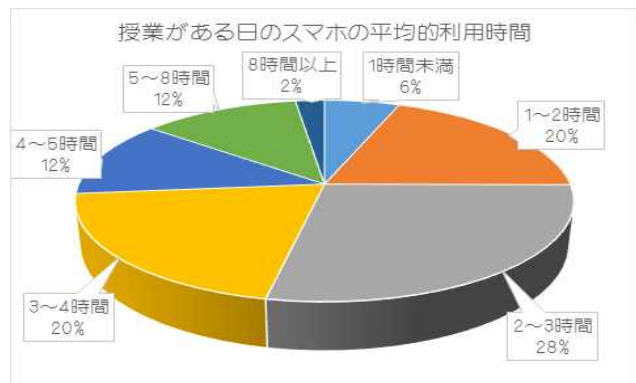
◎11月22日(水)、草花コースが校外学習で、弥彦神社菊祭りを見学。仕立ての技に驚かされました。生物工学科の古典ギクの展示も注目を集めていました。

スマホの使い方を親子で考えてみませんか！

10月に実施した「スマートフォン等の利用に関するアンケート調査」の結果がまとまりました。

スマホの所持率は、99.7%。フィルタリングをかけていない人の割合が17.5%。みんなで使い方を考える必要性を感じました。

授業がある日のスマホの平均的利用時間は、下のグラフのとおりで、3時間以上の人々が46%。勉強などに悪影響がないのか心配です。



スマホを使っていて困ることでは、上のグラフのように、「被害にあわないか心配」「他のことをする時間が減る」などの困り感を持つ生徒も多いことがわかりました。

では、どうしたらいいでしょうか。「スマホの使い方について家庭でのルールを決めていない」と答えた人が65.2%と極めて多い状況です。先日の地区PTA研修会で、「イレブン・セブン運動」が話題になりました。まずは、各家庭で、親子で、スマホの使い方を話し合い、じっくり考えてみませんか！

イレブン・セブン運動とは

スマホ依存症を予防するため、

- (1) 夜11時から朝7時まで、モバイル端末に触らない。Eメールやインターネットの利用をしない。
- (2) たとえ友達からメールやSNSが来ても翌朝まで返信をしない。
- (3) 夜11時から朝7時まで、モバイル端末を寝室に持ち込まない。夜間の充電は『居間』で行う。

という取組をする運動です。